



百十四グループ内ごみ袋を再生製品へ切替

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）及び当行連結子会社8社は、グループ内で使用のごみ袋を99%再生材から製造されたごみ袋に順次切り換えてまいりますのでお知らせします。

今回の取組みは、「百十四銀行SDGs宣言」に基づき環境に配慮した持続可能な地域社会の実現に向けた取組みの一環です。環境面への貢献に加え、日常から社会全体のごみ問題を考える環境をつくることで役職員のSDGs意識の醸成を図ってまいります。

記

1. ごみ袋について

- ・ 99%廃プラスチック再生材を利用して作られています。
- ・ 廃プラスチックを国内循環させることで、環境負荷の低減やカーボンオフセットが可能です。
- ・ 一般ごみ用袋（45ℓ）と裁断文書用ごみ袋（90ℓ）を再生製品のごみ袋へ切り替えます。
- ・ 年間約5トンのCO2排出量削減効果が見込まれています（Scope3 ※）。

2. 使用開始時期：2022年6月中旬



※Scope3：温室効果ガス排出量の構成の1つで、Scope1（燃料の燃焼等の直接排出）、Scope2（電気や熱・蒸気の使用に伴う間接排出）以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）